

第2期加東市教育振興基本計画における課題

基本方針①小中一貫教育をとおして自立した子どもを育む学校教育の充実

基本方針②「生きる力」としての「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育の推進

- 1 9年間の学びの系統性・連続性を重視した小中一貫教育を通じた確かな学力の育成
- 2 系統性のあるカリキュラムの整備と実践（小中一貫教育の推進）
- 3 「かとう学」を活用し、教科横断的な取組に発展させ、ふるさと加東を愛する心の醸成
- 4 英語教育の充実（教員の指導力の向上、コミュニケーションを重視した英語授業、小中一貫した教育）
- 5 1人1台のパソコン等ICT機器の効果的な活用の推進、研究（効果的なツールとしてICT機器を活用し、授業改善、家庭学習の充実）
- 6 健康により運動習慣や食生活を自ら選択し実践していく力をつける（「健やかな体」の育成）
- 7 インクルーシブ教育の充実（市民の発達障害等の理解を深め、関係機関が共通理解のもと一貫した支援の充実）

基本方針③「子どもたちの学びや育ちを支える仕組みの確立」

- 8 地域と学校の協働体制の構築
「学校を核とした地域づくり（地域学校協働活動）」と「地域とともにある学校づくり（コミュニティスクール）」を一体的に推進することが求められている。
- 9 教育環境の整備・充実（小中一貫校の整備、学校施設の適切な維持管理、ICT機器の維持管理など）
- 10 子育ての孤立化に伴う子育ての不安感・負担感の解消

基本方針④「生涯学習による、だれもが生きがいをもてる社会の形成」

- 11 市民誰もが学びの機会を得ることができる事業の実施やだれもが気軽に集うことのできる「居場所」となるような公民館等の運営の工夫
- 12 人に優しく、暮らしに役立つ図書館（高齢者等、図書館利用に困難を感じておられる方に対してもサービスを提供することが課題）

基本方針⑤「人権教育・啓発の推進による、共生社会と人権文化の創造」

- 13 体験活動や道徳教育による自尊感情や思いやり・協働の心の醸成（「豊かな心」の育成）
- 14 不登校児童生徒の一人一人の状況に応じた具体的な支援の実施と新たな不登校を生まない学校・学級づくり
- 15 日本語指導が必要な外国人児童生徒の生活や学習の支援体制の整備（多文化共生教育）